

現代における J-POP と洋楽の関係

仙台第三高等学校 芸術 E-1 班

はじめに

古くから洋楽は日本人に多く聴かれており、現代にいたるまで親しまれてきた。そして、その後にJ-POPが誕生し、親しまれるようになった。そこで私たちは、現代におけるJ-POPと洋楽の関係や、洋楽圏と日本人アーティストの間の関係を調べることにした。これによって、洋楽圏において、よりJ-POPが親しまれるようにすることができるのではないかと思い、研究を始めた。

J-POPの歴史

発祥: **J-WAVE** (東京のFMラジオ局)

年: 1988年

<企画>邦楽を流す。

「日本のポップス」 → 「**J-POP**」 (Japanの頭文字)

背景: 1985年 日本専売公社 → 日本たばこ産業 (JT)

1986年 浜田省吾のアルバム 「J-boy」

1987年 日本国有鉄道 → JR

⇒ **日本をあらわす文字「J」が定着してきた時期**

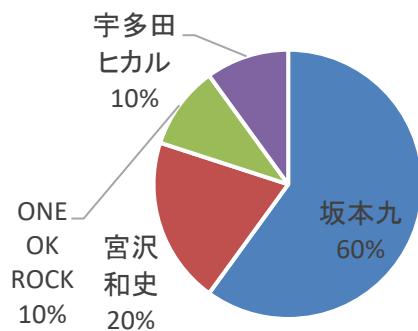
※ 1993～1995年 一般的に利用されるようになる

背景: 1993年 日本プロサッカーリーグ開始

1990～	<ul style="list-style-type: none">音質向上1982年に登場したCD、再生装置の普及 → 音楽市場拡大 + 売り上げの上昇
2000～	<ul style="list-style-type: none">抽象的なシンセサイザー音が主流にCD不況 ← 顧客の趣味趣向の細分化ネットを中心とした音楽シーン音楽配信 (デジタルダウンロード) の売り上げ上昇
2010～	<ul style="list-style-type: none">クラブミュージック直系のJ-POPが人気アイドルグループと他アーティストの格差が拡大YouTube・違法ダウンロードの蔓延

外国人の評価

「あなたの周りの人が知っている日本人歌手はだれですか。」



坂本九が一位となった。また、彼は「上を向いて歩こう」で日本人で初めて全米チャート1位を獲得したこともあり、その知名度は高い。

また、2位のTHE BOOMの宮沢和史は、特にアルゼンチンで有名である。その理由として、彼の代表作である「島唄」が日韓ワールドカップの際にアルゼンチンの大会応援ソングに起用されたことが要因である。

この2つに共通することは、いずれも自分たちから売り出したのではなく、現地の人がその曲を広めたということ。そして、一度日本で流行り海外で再ブレイクしたということがわかる。

まとめ

意外性

独自性

カリスマ性

センス

マンネリの防止

パイオニアへの崇拜

音楽の評価向上

実際に海外で活躍する日本人とその理由

“ONE OK ROCK”

自身のアルバム
“Ambitions”
↓
米国 billboard
106位

“BABYMETAL”

Lady Gaga
&
METALLICA
&
Red Hot Chili Peppersの
ワールドツアー
オープニングアクト

あるサイトでは、BABYMETALについて1) 「そんな彼女たちが注目を集めた大きな理由のひとつはラウドミュージックに精通したプロデューサーの小林啓氏 (アミューズ) が発明した『アイドルとメタルの融合』をコンセプトにした独自性と意外性のアイデアです。」と評価している。

また、他のサイトでは、ファッションビジネスコンサルタントの坂口昌章さんが、2) 「私にとって、BABYMETALはコンセプトだ。しかも、とても斬新かつ効果的なコンセプトである。」と語っている。

結果

・ BABYMETALはアイドルとメタルという意外性のある融合によって活躍

・ 「島唄」や「上を向いて歩こう」のようなかつての日本のヒット曲が海外で再流行

・ インターネットの発達により違法アップロードが蔓延

参考文献

1) BABYMETALが筆頭! 世界で活躍する6組の日本人アーティスト | J.Score Style - 人生の選択肢を広げるFinTechメディア

<https://www.jscore.co.jp/column/lifestyle/2017/babymetal/>

2) 音楽不況の今、なぜ日本の「BABYMETAL」は海外で成功したのか? <https://www.mag2.com/p/news/206262/2>

3) いまから50年前全米を制したのは日本の音楽だった。 <http://www.billboard-japan.com/special/detail/607>

4) THE BOOMの『島唄』がアルゼンチンのチャート1位になった過去 <https://www.excite.co.jp/News/90s/20170428/E1492076279866.html>